

2020年度 後期授業評価アンケート 顕彰科目担当教員コメント

教員名	松河 理子
顕彰科目名	知的障害者の病理
<p>●授業運営において工夫されている点</p> <p>本講義では、学生らが行う「知的障害に関連する内容」の研究発表が大変深い学びになっています。ですので、顕彰されるべきは学生たちかもしれません。</p> <p><授業の形式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回、学生から授業内容に関する質問を募り、翌週に全体へ回答するようにしています。コミュニケーションカードの利用から c-learning の利用へと変更していきました。 ・スライド教材は ppt を使用しており、個人情報を含まないスライドはできるだけプリント配布も心がけています。 ・スライド番号を明確にしながらか講義をすることで、「どこを話しているかわからなくなる」ということのないよう心がけています。 ・具体的な内容などのビデオ教材を用いることで、知識を深めています。 <p><アクティブラーニング></p> <p>学生らに「知的障害に関連する内容」の研究発表を行っていただいております、これが大変深い学びにつながっているようです。ダウン症の歴史、自身の障害に関する当事者研究、知的障害を抱えるきょうだいの紹介と当事者家族研究、自閉症の遺伝子解析について、スペシャルオリンピックス、学校現場での新型コロナウイルス感染症対策、など今年度も多岐にわたり、示唆に富んでいました。本来であればディスカッションまで行いたところでしたが、新型コロナウイルス感染症対策ということもあり、教員からの質問とコメントは口頭で行い、学生同士は全体質問にとどめました。その上で、学生は互いの発表に関して、採点及びコメントを c-learning 上で入力し、コメントは各学生に返却しました。</p> <p><様々なバックグラウンドを抱える学生への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成が苦手な学生や人前での発表が苦手な学生もおりますので、できるだけ個々の能力を最大限に発揮できるように工夫しています。 <p>●今後取り組んでいこうと考えておられることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニング形式の授業のブラッシュアップをはかっていきたいと考えています。 	